

# 図書の展示

今回の特集に関連した本を集めた図書展を開催します。

《日時》4月1～30日  
9～19時

《場所》中央図書館

《内容》戦争の体験談やみとりなど、司書による選書の展示

☎中央図書館 ☎223-0033

# デジタル写真展 作品募集

命の尊さや生きる喜びを実感した瞬間の写真を募集します。写真は、駅前のデジタルサイネージや市HPに掲載します。

《募集期間》4月16日まで

《掲載期間》4月下旬～

☑Eメールで写真データを広報課 ☐0200@city.atsugi.kanagawa.jpへ送付またはインスタグラムのダイレクトメッセージで市公式アカウント「atsugi\_city」へ写真データを送付。

☎広報課 ☎225-2040



## 新しい副市長決まる 次の厚木へ 新体制



幹部職員らの前で決意を語る



霜島宏美前副市長の退任に伴い、元市職員の石塚修氏(65)が副市長に選任されました。任期は3月6日から4年間で、副市長は現職の上前行男副市長と2人態勢になります。石塚氏は、1980年に入庁し、中心市街地整備担当部長や産業振興部長などを歴任。2018年から厚木歯科医師会の事務局長を務めていました。3月6日に開催された選任発令式で石塚氏は「少子高齢化や感染症など多くの課題があり、大きな責任を感じている。亡くなった佐藤明元副市長が志した思いもくみ、スピード感を持って果敢に挑戦していきたい」と話していました。

霜島宏美前副市長の退任に伴い、元市職員の石塚修氏(65)が副市長に選任されました。任期は3月6日から4年間で、副市長は現職の上前行男副市長と2人態勢になります。石塚氏は、1980年に入庁し、中心市街地整備担当部長や産業振興部長などを歴任。2018年から厚木歯科医師会の事務局長を務めていました。3月6日に開催された選任発令式で石塚氏は「少子高齢化や感染症など多くの課題があり、大きな責任を感じている。亡くなった佐藤明元副市長が志した思いもくみ、スピード感を持って果敢に挑戦していきたい」と話していました。



霜島宏美前副市長の退任に伴い、元市職員の石塚修氏(65)が副市長に選任されました。任期は3月6日から4年間で、副市長は現職の上前行男副市長と2人態勢になります。石塚氏は、1980年に入庁し、中心市街地整備担当部長や産業振興部長などを歴任。2018年から厚木歯科医師会の事務局長を務めていました。3月6日に開催された選任発令式で石塚氏は「少子高齢化や感染症など多くの課題があり、大きな責任を感じている。亡くなった佐藤明元副市長が志した思いもくみ、スピード感を持って果敢に挑戦していきたい」と話していました。

## 小学生約400人が健脚競う

### ちびっこマラソン・駅伝競走大会を3年ぶりに開催

小学生対象の「ちびっこマラソン・駅伝競走大会」が、荻野運動公園で開かれ、春の訪れを感じさせる陽気の中、約400人が健脚を競いました。大会は、子どもたちがスポーツに親しむきっかけをつくるために開催し、今回で11回目。2020・21年度は感染症の影響で中止となっていました。スタート時間になると、15歳の部、1歳の部、1歳の部、親子の部の順に、競技場から駆け出しました。4人でたすきをつなぐ駅伝の部には、19チームが参加。チームメイトや保護者らの声援を受けながら、懸命にゴールを目指す姿が見られました。2年生親子の部で優勝した山田幸一さん(8)は「最後、優勝できそうだったので、疲れていたらけれど頑張った」と胸を張りました。



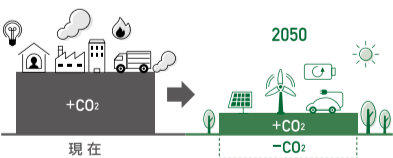
手をつなぎゴールを目指す親子の部の参加者



## 第1回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

### 今月の挑戦 CNを学ぼう!



温室効果ガスの排出量から、植林や森林管理などによる吸収量を差し引き、合計が実質的にゼロになることを目指す。

温暖化を食い止めるには、現在の生活様式を見直す必要があります。市では、CNの必要性や一人一人ができる取り組み、補助金情報などを専用のホームページ「CNプラットフォーム」で紹介しています。まずはCNを学ぶことから始めてみましょう。

CNプラットフォームでは、家庭でできるCNの取り組みをはじめ、企業の取り組みや補助金の情報などを発信しています。☎環境政策課 ☎225-2749



「『厚木愛炸裂』を心の底に置き、新しい厚木の未来をつくりたい」多くの皆さんの出迎えを受け、2月24日に初登庁の日を迎えました。市役所玄関前では、市長として初めてのあいさつを経験。皆さんの期待に満たたまなざしを前に、背負った責任の重さを深く身に刻みました。選挙戦の中では、市民の皆さんから現状への物足りなさや閉塞感を伝えられることがありました。県央の雄都としての存在感に大きな危機感



相模里神楽・垣澤社中の皆さんと

民朝市などで市民の皆さんの息遣いに触れられる機会がありました。郷土芸能である相模里神楽・垣澤社の記念公演では、受け継がれてきた伝統の中に新たな息吹を感じられるすてきな体験もできました。私がまず取り組みたい政策の一つに、「スポーツ、文化芸術、歴史の聖地づくり」があります。皆さんの生き生きとした活動を応援し、市内の至る所に厚木愛が響き合うまちづくりに挑戦まいります。

を抱いており、生まれ育ったふるさとを全国から憧れを抱かれる魅力的なまちにしたいとの思いが日増しに高まっています。就任早々から記者会見をはじめ、議会、あいさつ回りなどの公務がどっと押し寄せる中、公民館まつりや市